



わたしと憲法 第22話

暮らしの中に 憲法いかそう ♪



北訪問看護ステーション 所長
矢田 章江

私が憲法を身近に感じるようになったのは、学生時代 京都蜷川革新府政の応援に行ったときです。この歌声とともにかけられた横断幕。私たちの生活の中に憲法。新鮮な感覚でした。その後、名古屋でも革新市政誕生。私たちが主権者として行動する運動の中で、人が人として生きる権利を保障するものとして いつも憲法はそばにありました。

今、看護師として仕事をしていますが、平和があってこそ人権は守られるのだと感じています。そのために今、何をしなければいけないのか。みなさんといっしょに行動できたらと思っています。

